

# 三島工業団地ニュース

No.2 令和5年5月1日

Vol.45 三島工業団地協同組合

## 「事務局からのお知らせ」

### (有)宗次刃物製作所 跡地への進出企業について

一昨年廃業した同社跡地は当工業団地の区域内であることから、団地組合に加入いただけるよう製造業業者の進出を第1に考え、昨年来 植松社長や組合事務局にて活動して参りました。当初は、製造業業者の購入見込先も多少ありましたが各種条件が合わず、結果購入には至りませんでした。

そのような状況の中で、現在 御園地区で金属スクラップ回収業を営む「富士屋株」が当該土地北側の遊休地を購入することとなり、隣接する当該土地も購入したいとの申し出となりました。

富士屋株は製造業者ではないため団地組合としては悩ましいところでしたが、売主の早期売却の意向も考慮し理事会にて審議のうえ売買を了承することとしました。

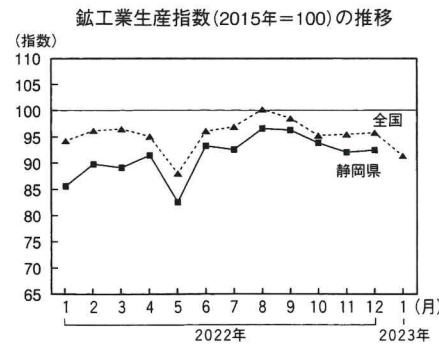
既に3月下旬に売買は終了し買主は事業所移転の準備に掛かっていますが、開業後の金属スクラップ積載トラックの出入口は購入地北側の県道隣接地です。南側の進入路(組合所有道路)は買主の希望もあり一般車両や徒歩での通行のみを認めることとしました。

富士屋株は団地組合員とはなりません隣接地の事業所となりますのでご承知置き願います。

## 「静岡県内の景気概況」

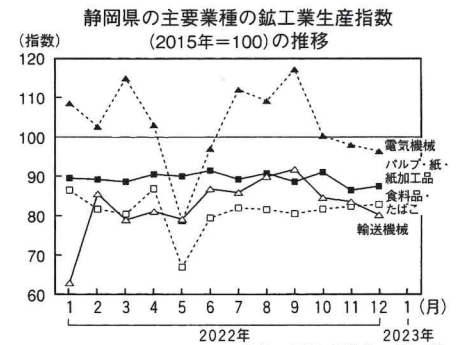
全国的に新型コロナの新規感染者数が少数推移する中、5月には感染法上の位置づけが見直し予定となるなど、新型コロナに関する経済活動上の制約は減少している。また、県内企業の8割が今期の賃上げ方針を表明するほか設備投資の今年度計画額も前年比2桁増加を見込むなど、景気の押上が期待されている。

ただし、足元では原材料や燃料コストの急増で企業収益は圧迫されている。また、電気代などの負担増で消費者の購買意欲も低迷しており、県内景気は回復傾向にはあるものの、その足取りは重い状態である。



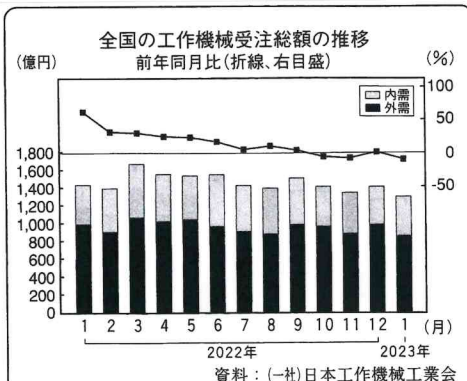
12月の静岡県の鉄工業生産指数は92.5(季節調整済、2015年=100)で前月比+0.4%と、4カ月ぶりにわずかながら上昇したが、20カ月連続して100を下回った。

主要業種(季節調整済)では、パルプ・紙・紙加工品87.5(前月比+1.2%)と食料品・たばこ82.9(同+0.6%)



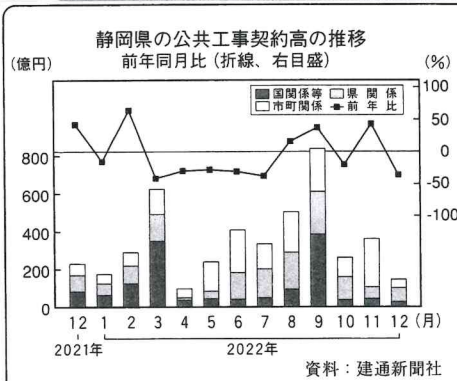
がわずかに上昇したが、電気機械96.4(同△1.6%)と輸送機械80.2(同△4.1%)は、ともに3カ月連続で低下した。

その他、汎用・生産用・業務用機械131.7(同+5.4%)、化学115.5(同+5.2%)などは上昇、非鉄金属82.8(同△2.4%)などは低下した。



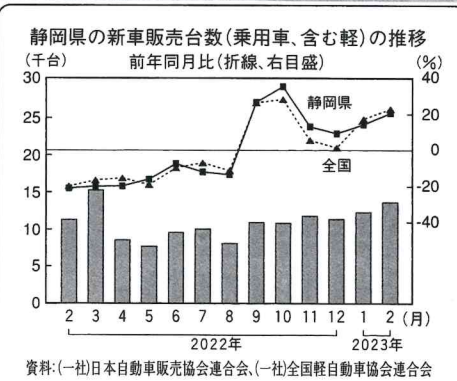
1月の工作機械受注総額(全国)は1,290億8,700万円で前年比△9.7%と、2カ月ぶりのマイナスになった。

内訳は、内需が434億200万円(前年比△1.7%)で5カ月連続して前年比マイナス、外需も856億8,500万円(同△13.2%)で2カ月ぶりに前年を下回った。



12月の静岡県内の公共工事契約金額(速報)は146億3,325万円で、前年比△36.1%のマイナスとなった。

発注先別契約額は、市町関係45億円(前年比△24.6%)、県関係74億円(同△12.7%)、国関係等27億円(同△67.8%)と、いずれも前年実績を割り込んだ。



2月の静岡県内の新車販売台数(乗用車、含む軽自動車)は1万3,611台で前年比+20.6%と、6カ月連続のプラスとなった。

車種別では、普通・小型車が7,553台(前年比+26.8%)、軽自動車は6,058台(同+13.7%)と、いずれも6カ月連続で増加した。